

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report	2024-25年度 R.I.テーマ 会長：ステファニーA. アーチック	承認 会長 幹事 事務局	1995.03.28 加藤 豊 田中 如似 名古屋クレストンホテル 1007号 名古屋市中区栄 3-29-1
	例会会場：名古屋クレストンホテル (TEL: 052-264-8000) 例会曜日：木曜日 12時30分 クラブ会報広報委員長：岩田 宏 HP: http://nagoya-marunouchi-rc.org/	 ロータリーの マジック Rotary Club of Nagoya Marunouchi	TEL 052-263-1324 FAX 052-263-0730 E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp
加藤 豊 会長 年度目標：30周年を祝おう！ そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積もう！			

第1274回 例会 No. 15 令和6年11月28日 (木)	
Make a Wish 支援夜間例会 於:名古屋クレストンホテル18時半~ 社会奉仕チャリティオークション	
■ローターソング	「それでこそロータリー」
■出席報告	会員46名中14名出席
■出席率	33.33% 出席計算人数42名
■ゲストスピーカー	Make a Wish 名古屋支部 原 順子 様
■ゲスト	” 中島美帆子 様 会員ご夫人 高坂 敬子 様

会長挨拶 **加藤 豊**

皆さん、こんにちは。
 恒例の社会奉仕チャリティ例会を始めたいと思います。
 本日はメイクアウィッシュオブジャパンの原 順子さんと中島美帆子さんがゲストでお越しです。委員会報告が終わった後、原さんからメイクアウィッシュオブジャパンの活動について近況をお話いただき、恒例のチャリティオークションを始めたいと考えております。オークションの司会はいつもお願いしている松尾さんに、今年もお願いしています。原さん、中島さん、松尾さん、宜しくお願いいたします。
 さて、今年の秋は選挙の秋でした。皆さんご存じのように、今は自民党が大敗し、与党の議席が過半数割れという事態に至りました。マスコミはこれを「政治とカネの問題」と片付けていますが、私はもっと根の深いところに問題があると考えております。ロータリークラブに所属している会員の皆さんは、経済的に恵まれている方が多いので実感はわからないかもしれませんが、じつは国民の生活は今かなり圧迫された状態です。まずインフレです。2020年から2024年の8月まで概ね3年半で消費者物価指数は8.9%値上がりしました。企業業績が好調なので、2024年は賃金上昇率が4.1%とかなり賃金も上昇してきてはいますが、つい最近まで実質賃金が目減りしていたところをみると、物価上昇分をキャッチアップしきれているかというところではありません。先日私は自宅で、カントリーマアムというチョコチップクッキーを食べておりましたが、あれ、ずいぶん小さい。と気になったので調べてみました。2005年に直径8センチあったカントリーマアムは2015年には直径4センチになっていたということで、これはこの20年の間に



潜在的にインフレが進行していたという事です。その一方で、政府税収は絶好調で、消費税、法人税、個人所得税などあらゆる税収が毎年3兆円ほど増えています。インフレとそれに伴う給与の増加や円安による企業業績の改善が政府の税収を潤しているのですが、これは要するに国民の家計から政府や企業に富の転移が起きていることを示しています。そういった閉鎖的な状況に対して、国民の怒りが爆発とまではいかないまでも、政府自民党に対して否定的な反応となって返ってきたのではないかと私は考えております。今般新しく石破政権が誕生しました。このような国民の窮状に対して、明確な方針を示していただきたいと考えております。

さて、メイク・ア・ウィッシュは1980年にアメリカで発足した運動です。アリゾナに住む、クリスという白血病の7歳の少年には将来警察官になりたいという夢がありました。その話を聞いた地元の警察官たちがクリスを名誉警察官に任命し、彼のために本物そっくりの制服とバッジをプレゼントしたのが始まりです。あまり詳しくお話してしまうと、原さんのお話の内容に差し障るのであとでお聞きしたいと思いますが、メイクアウィッシュオブジャパンは2009年に設立され、以後難病の子供たちの夢をかなえる活動を続けておられます。本日は皆さんぜひ、積極的にチャリティオークションにご参加いただき、一人でも多くの子供たちの夢をかなえる活動に参加してください。それでは、本日もよろしくお祈りいたします。

ニコBOX
● 本日はメイクアウィッシュ支援夜間例会です。名古屋支部の原 順子様にお越しいただき、活動紹介のお話をうかがいます。宜しくお願いします。 田中幹事、藤田、磯部、安江、小野、恵利、松尾、後藤西川、森田、岩本、梶谷 (敬称略)
加藤会長 良い景品がなくてゴメンナサイ。 高坂さん、ご夫人 敬子様 お誕生日のお祝いを有難うございます。
本日合計 35,000 円

次回例会のご案内
12月 5日 (木) 「年次総会」
12月 14日 (土) 例会変更「Xmas 家族会」
12月 19日 (木) 外部卓話 愛知県環境局 大島隆志 様

乾杯発声

副会長 後藤 徹



大変少ない人数ですが、これから多分盛り上げていただけたと思います。今日はなるべく財布のヒモを緩めて、チャリティに貢献できるようにしましょう。乾杯！

歓談風景



幹事報告

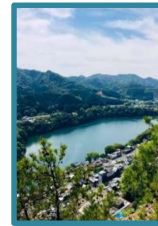
田中 如以

まずは先日の地区大会にて財団寄付目標額達成の表彰バナーをいただきましたのでご披露いたします。

12月の例会、来週はグローバル奨学生の小林美智さんにお越しいただきまして帰国報告をしていただきます。また年次総会もありますのでたくさんのご出席をお願いします。12月14日土曜日はクリ



スマス家族例会で6時からクレストンホテルで、そして19日の上半期最終例会は外部卓話で愛知県環境局環境対策部 大島隆志様にお越しいただきます。その他のご報告として、先日ゴルフ会があり中京ゴルフクラブ石野コースに行っていました。



また、個人的なことですが先週岐阜県川辺町にあります、岐阜のグランドキャニオンと呼ばれる標高272メートルでとても低いのに大変すばらしい景色が見られる岩山の遠見山へ行ってまいりました。是非皆様にも運動がてら行っていただきたい場所ですのでご紹介いたしました。

卓話

メイク・ア・ウィッシュオブジャパン名古屋支部 原 順子



今年もまた貴重なお時間を有難うございます。

名古屋丸の内ロータリークラブの皆さんにはいつも

本当に温かいお気持ちで多大なご支援をいただきまして、感謝しております。メイクアウィッシュとはひと言で言うと、3歳から18歳未満の難病と闘う子供たち一人一人の夢を叶えるという、お手伝いをしているボランティア団体です。夢は大きく分けると5つあり、行きたい、会いたい、なりたい、したい、欲しいです。〇〇へ行きたい、〇〇に会いたい、〇〇になりたい、〇〇をしたい、〇〇が欲しいという夢を叶えるお手伝いをします。近年はコロナ禍で活動も大打撃を受けました。当然、寄付金も減少傾向にありましたが、この丸の内ロータリークラブの皆さんはコロナ禍の時も支えてくださいました。それで私たちも夢の実現のお手伝いを続けることが出来ました。名古屋支部というのは、愛知・岐阜・三重の病院で病気と闘っている子供たちの夢を叶えるお手伝いをさせていただいているのですが、コロナ禍の前は大体30~40人のお手伝いをしていたのですが、コロナ禍では旅行に行けなくなった代わりになにかプレゼントさせていただいたりしていたのですが、それでも3分の2に減って20名となってしまい、2020年、2021年、2022年は30名を超えられませんでした。昨年2023年は33名のお子さんのお手伝いが出来ました。これもずっと皆さんに支えていただいたおかげだな、と実感しております。この2024年はどうかという、いまのところ26名で来月も含めると30名を超えられるだろうと思っています。ただ、旅行などは大変制約が多い中でお手伝いさせていただいています。ディズニーランドやUSJに行きたいお子さんが多いのですが、パーク内の滞在時間は短く制限されてしまいます。そんな中でもどのお子さんも満面の笑みを見せてくれます。そうするとご家族も笑顔になり、関わった私たちも喜びをわけていただき、何かをしてあげているのではなく、私たちが幸せをいただいているなという事を実感しております。

私事ですが、私は東京でこの活動を始めて11年間ボランティアしたのちに、スタッフとして働くことになり名古屋

に転勤して来ました。名古屋で約 19 年、ちょうど 30 年メイクアウィッシュの活動に携わって参りました。そして年内で退職しメイクアウィッシュを卒業することになりました。今日一緒にきている中島美帆子があとを引き継いでくれますので、宜しく願いいたします。そしてこの 30 年間でどのお子さんが印象的だったかな、大変だったかな、感動的だったかなということを皆さんに聞かれるのですが、一人一人、すべてのお子さんにドラマがあり喜びをいただいています。やはり病氣と闘っているので外部では話して欲しくないという方が多いのですが、そんな中でいつでもどこでもお話して広めてくださいといってくださいました 2 人のウィッシュチャイルドのお話をしたいと思います。まずお一人目は東京にいるときに関わった清水美穂ちゃん。

皆さんの中でも読んだ方がいらっしゃるかもしれませんが、



この「いちばん大切なもの」という絵本は美穂ちゃんの「自分が作ったお話を絵本にしたい」という願いに、プロの絵本作家 金斗鉦(きむとうげん)さんが協力してください作られました。美穂ちゃんが学校の文化祭に出たいけど闘病中のために出られない。じゃあ文章を書くのが得意なので文化

祭の劇の台本を書こうということになり、そしてこの台本の登場人物はこんな人という美穂ちゃんが描いた絵をもとに、金斗鉦さんが台本から絵本の文章にしてくださいました。そしてこの「いちばん大切なもの」が出来上がりました。美穂ちゃんがなぜこの本を作ろうと思ったかという、絵や文章を上手に書けるんだよということを皆さんに知ってほしかったわけではなく、自分と同じように病氣と闘っている子供たちを励ましたい、なのでこの本を全国の大学病院などに贈られ、その事によって完全に夢が叶いました。美穂ちゃんは悲しいことにすでにお星さまになってしまいましたが、美穂ちゃんがいなくて今現在もこの本はどんどん増刷されています。今年になりルビがふられた版も作られましたので、ひらがなが読める子なら誰でも読めるようになりました。この内容は幼稚園のお子さんでもわかる「ひとりじゃないよ。仲間がいるんだよ。」というのですが、今まではルビのない本でしたので小さいおさんはひとりでは読めませんでした。ルビがついて新しい形になってこの本はあらゆるところに置かれています。美穂ちゃんの「ひとりじゃないんだよ」というメッセージがまだまだたくさんの人に広がっているのです。美穂ちゃんが天国に行ってもその夢は広がっている、美穂ちゃんのパワーって凄いなって思います。

そしてもう一人は名古屋のサチちゃんというお子さんです。

サチちゃんは実はコロナ禍の時に、夢を叶えさせていただきました。その夢は、ある有名人に会いたいというものだったのですが、本部を通してお願いしたところ会えますよとお返事をいただき、東京まで出かけることに主治医の先生の許可も下りました。色々計画を立てていたところ、その有名人の方が忙しくなってしまう、会えないことになってしまいました。一旦は会えると



いう事で大変楽しみに計画をしていたのに、お断りをつたえなければならなくなって本当に心苦しかったです。でもサチちゃんもお母さんも、忙しいから仕方ないよねとの方が会えないお詫びに用意されたプレゼントを渡すと、そのことをとても喜んでくれました。そして、気持ちを切り替えて東京ディズニーランドに出かける夢にしますと変更し、私たちも一生懸命お手伝いしますね、と張り切っていました。ところが、主治医の先生から「そんな人がたくさんいるところはやっぱり無理です」と言われて、では行けるようになるまで延期しようかと先生に相談したところ、「時間がないです。年内に叶えてください。」と言われてしまいました。その時 10 月だったのですが、どうしたら良いか皆で悩んでいたら 11 月はサチちゃんのお誕生日だということで、ではホテルでサチちゃんのお誕生日祝をしようと思いました。サチちゃんもとても喜んでくれて、ヒルトン名古屋さんも協力していただけることになり、着々と準備をしていました。しかし 11 月に入りサチちゃんが病氣になってしまい、熱が高くなり主治医からも 11 月中は無理だと言われました。協力して下さるホテルも、12 月は繁忙期なので難しいだろうからあきらめようとしていたところ、ホテルの方が「なんとかします。12 月でも絶対になんとかしますから、夢が叶う時にいつでもいらしてください。」と言ってくださり、一か月遅れで夢を実現する事ができました。サチちゃんの 9 歳のお祝いだったのですが、3 歳のころから闘病生活を始めて外に食事に行くことが出来なかったから、私は小学 3 年生だけのお子様ランチを食べてみたいという夢でしたので、特別にお子様ランチを作っていただきました。ホテルのチャペルでサプライズのパーティ、ホテルの皆さんが手拍子をして音楽が流れる中でクラッカーを鳴らしたり、サチちゃんの好きなディズニープリンセスのアリエルの形をした、しかもサチちゃんの好きな水色のパースデーケーキが用意されていました。たくさんの方の祝福を受けてサチちゃんもとても嬉しそうでした。



後日、サチちゃんは「3 番目の夢になって良かった」、ご両親も「病氣になってつらいことばかりだったけれど、たくさんの方の温かさを感じることができた。夢の応援団の方たちがこんなに協力してくださってとても嬉しかったです。」と言ってくださり、メイクアウィッシュの活動はこういうものなんだという感動を実感しております。残念ながらサチちゃんもお星さまになってしまいましたが、ご両親も良い思い出が持てて良かった。このお話をどんどん広げて、病氣の子どもたちの心の支えにしてあげてください、と子どもホスピスに協力したり、チャリティマラソンに参加して下さったりとか、いろんなことで活動してくださっています。私はもう卒業してしましますが、思っていることは「夢を叶

えるのは、ウィッシュチャイルド本人。そして夢を叶えたウィッシュチャイルドの笑顔で私たちも喜びをいただいている。でもその夢を輝かせるためにはたくさんの方の応援が必要である。」ということです。本当にいつも温かいお気持ちでご支援いただきありがとうございます。どうかこれからも応援団として、皆さんの心を何かの形でご協力いただければと思います。



チャリティオークション

社会奉仕委員長 森田 正樹



今年も皆様からたくさんのご協力をいただき感謝いたします。集まりました収益金より 20 万円をメイクアウィッシュへ、10 万円を

愛知県立名古屋聾学校への支援金と致します。

【収益金内訳】

オークション収益金	272,000 円
会員有志寄付(森田)	28,000 円
合計	300,000 円



支援金贈呈

社会奉仕委員長 森田 正樹

皆様の多大なご協力により、下記のように支援金を贈呈することが出来ました。有難うございました。

チャリティオークション収益金より	200,000 円
社会奉仕委員会事業支援金	100,000 円
合計	300,000 円



また、メイクアウィッシュより感謝状もいただきました。原さんの後任者、中島美帆子さんと共に記念撮影。

